

阿蘇海のハマグリ資源管理について協議しました

4 月から開始される(令和 6 年度漁期)阿蘇海でのハマグリ漁に向け、令和 6 年 3 月 22 日に、漁獲量上限等の資源管理について漁業者と協議しました。この協議は、本種の乱獲を防ぎ持続的に利用するために、令和 3 年度から実施しているものです。

当センターでは、漁業者が自主的に記録しているハマグリ漁の漁獲数量やサイズのデータを解析し、資源状況に応じた資源管理方法を漁業者に提案しています。令和 3~5 年度漁期では本種の漁獲量を資源量の 30%程度とする資源管理が実施されました。この管理は再生産による持続的な漁業が期待できるものであり、漁業者によって自主的に合意されたものです。この間、本種の資源量は減少傾向にありますが、漁獲対象とならない 4 歳未満の若齢個体が増加していることから、資源管理の効果が現れ始めていることが伺われました。

協議の結果、令和 6 年度漁期においてもこれまでと同様の資源管理が実施されることとなりました。当センターでは引き続き、同海における本種の資源管理に協力していきます。



ハマグリ漁の操業風景(阿蘇海)



阿蘇海で漁獲されたハマグリ